

## 事業促進

境港は、全国で唯一2県にまたがる港湾区域(鳥取県境港市、島根県松江市)を持つ港であり、北方を島根半島に囲まれた天然の良港です。

平成元年には、東南アジア航路が就航し、平成7年に中国航路・釜山航路が相次いで就航しました。また、同年には日本海側で初めてFAZ計画の承認を受け、物流需要の増大や船舶の大型化に対応するための港湾機能の強化を図っております。

環日本海の一翼を担う国際港として、また、モーダルシフトに対応した山陰地方の拠点港として、物流機能の一層の充実・強化を図るべく、多目的国際・国内物流ターミナルの整備や、これら物流ターミナルの荷役向上を図るための防波堤整備事業を推進します。



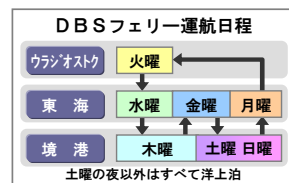
## 期待される整備効果

本事業により荷役効率の向上及び荷役作業時における安全性の確保が向上し、地域経済の国際競争力の維持・強化につながります。

## 境港における国際定期貨客船就航

韓国の海運会社(DBSクルーズフェリー)が、ロシア⇄韓国⇄境港の国際定期貨客船運航を計画しており、2009年5月末に就航予定です。

国際定期貨客船の就航により、日本海側における観光・物流の拠点として地域の活性化が図られます。



国際定期貨客船航路(※点線は就航予定)

